



NIHS特別講演会 (殿町#41)

演題

医薬品の使用実態に基づいた薬物相互作用・副作用の解析
—添付文書記載に関連した事例について—

講師

本間 真人 先生

筑波大学医学医療系臨床薬剤学
筑波大学附属病院薬剤部



ご略歴

1985年東京薬科大学薬学部卒（薬剤師免許）、1987年東京薬科大学大学院薬学研究科医療薬学専攻修了（薬学修士）、1994年博士（薬学）東京薬科大学より授与。

米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）薬学部に留学。日本薬学会関東支部支部長、日本病院薬剤師会、日本薬学会、日本TDM学会、和漢医薬学会、日本臓器保存生物医学会の理事を歴任。

東京薬科大学薬学部臨床薬理学教室助手・講師を経て、2000年に筑波大学臨床医学系臨床薬剤学助教授（筑波大学附属病院副薬剤部長併任）。2013年より筑波大学医学医療系臨床薬剤学教授（筑波大学附属病院薬剤部長併任）。現在に至る。原著論文は150報以上。

要旨

医薬品の添付文書は、薬剤師の業務（調剤や服薬指導）にとって欠かせない情報源であるが、その多くは臨床試験（治験）における限られた患者データによって構築されている。特に患者の組入基準と除外基準によって安全性に配慮する治験では、得られる薬物相互作用や副作用の情報が充分でなく、実地臨床との乖離がしばしば問題となる。これらに対処するためには、添付文書の記載内容を検証し、具体化する研究による情報のアップデートが必要である。

当院では遭遇した症例の詳細な解析を行い、さらにそれに基づく臨床研究による添付文書情報の検証と具体化に取り組んでいる。本講演では、その一部を紹介するとともに、医療現場で必要とされる医薬品情報についても考えてみたい。

日時

2024年12月20日（金）

15:30～17:30 開場15:00

国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

【お問い合わせ先】 国立医薬品食品衛生研究所 生薬部 丸山卓郎／政田さやか
電話：044-270-6727/6520 メール：t-maruya@nihs.go.jp
masada@nihs.go.jp